平成３０年度　熊本県立〇〇高等学校　保健室経営計画

養護教諭　○○○○

|  |
| --- |
| 学校教育目標 |
|  |

|  |
| --- |
| 学校保健目標 |
|  |
| 重点目標 |
|  |

|  |
| --- |
| 生徒の主な健康課題 |
|  |

到達度：　１　よくできた　２　ほぼできた　３　あまりできなかった　４　まったくできなかった

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 保健室  経営目標 | 保健室経営目標達成のための  具体的な方策  （※…評価の観点） | 自己評価 | | | 他者評価 | | | | |
| 到達度 | | 理由／  今後に  向けて | いつ | 誰から | 方法 | 到達度 | 意見・  助言等 |
|  | Ａ） | １　２　３　４ | |  |  |  |  | １　２　３　４ |  |
| ※ |
| Ｂ） | １　２　３　４ | |  |  |  |  | １　２　３　４ |  |
| ※ |
| Ｃ） | １　２　３　４ | |  |  |  |  | １　２　３　４ |  |
| ※ |
| Ｄ） | １　２　３　４ | |  |  |  |  | １　２　３　４ |  |
| ※ |
| 保健室経営目標①に対する総合評価 | | | １　　２　　３　　４ | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 保健室  経営目標 | 保健室経営目標達成のための  具体的な方策  （※…評価の観点） | 自己評価 | | | 他者評価 | | | | |
| 到達度 | | 理由／  今後に  向けて | いつ | 誰から | 方法 | 到達度 | 意見・  助言等 |
|  | Ａ） | １　２　３　４ | |  |  |  |  | １　２　３　４ |  |
| ※ |
| Ｂ） | １　２　３　４ | |  |  |  |  | １　２　３　４ |  |
| ※ |
| Ｃ） | １　２　３　４ | |  |  |  |  | １　２　３　４ |  |
| ※ |
| Ｄ） | １　２　３　４ | |  |  |  |  | １　２　３　４ |  |
| ※ |
| 保健室経営目標②に対する総合評価 | | | １　　２　　３　　４ | | | | | | |

平成３０年度　熊本県立〇〇高等学校　保健室経営計画（参考例）

養護教諭　○○○○

|  |
| --- |
| 学校教育目標 |
| 豊かな人間性、創造性及び健やかな心身を養い、社会において果たすべき自己の使命を自覚し、個々の能力を社会の進展に貢献することのできる生徒の育成を目指す。 |

|  |
| --- |
| 学校保健目標 |
| 自らの健康について関心をもち、生涯を通して主体的に健康な生活を送ることのできる能力を育てる。 |
| 重点目標 |
| ①性に関する指導の充実を図る。  ②部活動での傷害発生の防止と救急体制の充実を  図る。 |

|  |
| --- |
| 生徒の主な健康課題 |
| ・性に関する意識や知識の個人差が大きく、正しい理  解ができていない生徒がいる。  ・異性との人間関係を築くに当たってのルールやマナ  ーについての理解が十分できていない生徒がいる。  ・部活動中の傷病発生の割合が約60％と高い。  ・昨年、部活動中に熱中症を発症した生徒がいた。 |

到達度：　１　よくできた　２　ほぼできた　３　あまりできなかった　４　まったくできなかった

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 保健室  経営目標 | 保健室経営目標達成のための  具体的な方策  （※…評価の観点） | 自己評価 | | | 他者評価 | | | | |
| 到達度 | | 理由／  今後に  向けて | いつ | 誰から | 方法 | 到達度 | 意見・  助言等 |
| ①　性に関する指導の充実を図る。 | Ａ）情報交換と連携  保健室での健康相談や教職員等の日々の情報交換の中で、性に関する問題を把握し、ホームルーム担任、関係職員、学校医等と連携して対応する。 | １　２　３　４ | | 個別の健康相談を通して、学校全体での性に関する実態をつかむことができた。 | 年度末 | ＨＲ担任・保健主事 | 聞き取り | １　２　３　４ | 健康相談で個々の課題を的確に把握していた。 |
| ※健康相談及び他の教職員との情報交換で性に関する問題を把握できたか。 |
| Ｂ）年間計画作成への参画  ホームルーム活動の保健指導の年間計画の作成に参画する。 | １　２　３　４ | | 次年度は第３学年の年間計画作成に参画する必要がある。 | 年度末 | 保健主事 | 聞き取り | １　２　３　４ | １・２年生の保健指導年間計画作成に適切なアドバイスがあった。 |
| ※保健指導の年間計画の作成に参画することができたか。 |
| Ｃ）授業への参画  ホームルーム活動の保健指導に参画し、ティーム・ティーチングでの授業や資料提供を行う。 | １　２　３　４ | | 学年主任と入念な打ち合わせを行い、計画的に授業に参画することができた。 | 年度末 | 学年主任 | 聞き取り | １　２　３　４ | 担任と連携し、スムーズに授業へ参画することができていた。 |
| ※ティーム・ティーチングで授業に参画できたか。 |
| Ｄ）生徒保健委員会の活用  生徒保健委員会の活動に、性に関する課題を取り上げ、文化祭で発表できるように指導する。 | １　２　３　４ | | 調査活動から発表まで、生徒が主体的に活動することができた。 | 文化祭後 | 生徒・保健主事 | 聞き取り | １　２　３　４ | 生徒が主体的に取り組むことができた。今後は保護者への啓発を進めていきたい。 |
| ※文化祭の発表に向けて、計画的に取り組むことができたか。 |
| 保健室経営目標①に対する総合評価 | | | １　　２　　３　　４ | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 保健室  経営目標 | 保健室経営目標達成のための  具体的な方策  （※…評価の観点） | 自己評価 | | | 他者評価 | | | | |
| 到達度 | | 理由／  今後に  向けて | いつ | 誰から | 方法 | 到達度 | 意見・  助言等 |
| ②　部活動での傷病予防に関する指導等の充実を図る。 | Ａ）発生状況の集計・分析  部活動での傷病の発生状況について集計・分析し、その結果を指導に生かす。 | １　２　３　４ | | 各部活動ごとの傷病の発生状況を一覧にし、担当者に提供することができた。 | 年度末 | 部活動担当 | 聞き取り | １　２　３　４ | 傷病の状況について分かりやすい情報提供であった。 |
| ※発生状況を把握し、部活動担当者に資料提供ができたか。 |
| Ｂ）研修会（教職員対象）の開催  教職員を対象に、専門医による校内研修会を企画し、スポーツ障害について理解を深めてもらう。 | １　２　３　４ | | 参加者アンケート結果から、有効な研修であったことがうかがえる。 | 研修会後 | 部活動担当 | アンケート | １　２　３　４ | ・継続してアドバイスをいただきたいと思った。  ・今後に役立ついい内容だった。 |
| ※部活動担当者にとって有効な研修会を開催できたか。 |
| Ｃ）講習会（生徒対象）の開催  部活動の生徒を対象に、養護教諭が熱中症の予防や応急手当の方法について、指導する機会を設けて実施する。 | １　２　３　４ | | 参加者アンケート結果では、おおむね満足できる内容だったと思う。 | 講習会後 | 生徒 | アンケート | １　２　３　４ | ・熱中症の怖さがよく分かった。  ・部活動中に気を付けなければならないことをこれから意識していきたい。 |
| ※生徒にとって有効な講習会を開催できたか。 |
| Ｄ）医療機関との連携  緊急時には、地域の医療機関と連携が図れるようにする。 | １　２　３　４ | | 本校のに緊急時対応マニュアルを作成し、近隣の医療機関及び消防署に情報提供ができた | 年度末 | 医療・消防機関 | 聞き取り | １　２　３　４ | 学校の危機管理がよく分かったので、今後とも連携を図り、緊急時の対応に生かしていきたい。 |
| ※緊急時対応マニュアル、緊急連絡網などを作成し、地域の医療機関及び消防機関と情報共有ができたか。 |
| 保健室経営目標②に対する総合評価 | | | １　　２　　３　　４ | | | | | | |